

クサツク、式背囊、配給ヲ必要トス

現在支給シアル地下足袋ヲ廢シ靴内靴ヲ錦上式トシ履  
内靴布地ハ地下足袋布地ヨリ強シ又疲勞軽減上踵及  
靴底ヲ更ニ厚クシタルモノニ變更スルヲ要ス

五、附屬隊經過概要要至ニ所見

一、通信隊經過概要要至ニ所見

一、經過概要

残存シ六佐隊八特部隊命令第(號)紙カニ通信計畫ニ依  
リ實施シ概ニ良好ニ經過セリ

一、嘉積本部ハ隊部隊行動中(ヒ七)及(ヒ八)ヲ常時待  
受シ陸戰隊本部ハ(時間)毎(ヒ七)又(ヒ八)ヲ使用シ嘉  
積那大又(率)一陸戰隊本部ト連絡ニ努メタルモ(ヒ八)ニ  
ハ夜間ヨリ拂脱途ノ通達不良ニシテ相當ノ費消時ヲ要

0703

シタレモノアリキ

- (B) 隊内通信ハ各中隊ニ電信機又電話機ヲ配シ巨島及地勢ノ狀況ニ應ジ之ガ便ヒ別ケラナシタル結果概テ煩調ニ経過セリ
- (C) 進駐部隊ノ進駐至ニ作業隊ノ進出ニ伴ヒ之ニ電信機ヲ配シ屯昌ヲ中心トシテ通信ヲ安易施シタルニ何レモ連絡極メテ良好ニシテ煩調ニ経過セリ

(D) 本作戦中相當長期間悪路ヲ冒シ巻後ヲ各地ニ移動搬送シレモ作戦前ニ於テ検査整備並ニ使用後ノ補修手入ノ結果全機完全ニ作動シ使用不能トナラズルモノ皆無ナリキ

(E) 所見

(A) 今次作戦ニ於テハ九五。K。C。H。E。一ニ。ヲ舞一特ト共用シ最令作戦ニ使用セラレタルモ本電波ハ晝間波ニシテ夜間ニコソノ須

ヨリ新次感度低下シニハ、一〇七三ノ頃迄ハ全然通信不能  
ナリキ時ニ今次作戦ハ未明ヨリ神籠ニカケテ展開シ包圍態  
勢ヲ執ルベキコト多カシ結果最モ重大ナル時機ニ於テ通  
達不良ニシテ第ニ適宜ニ系ニ依ル中経通信トナリ責消時大  
ナルモノナリ

電波ノ選定ニ関シ留意ノ要アリト認ム

(B) 本作戦ニ於ケル當隊電信員出勤數ハ最大限各中隊一  
名陸戰隊本部三名(第ニ次ニ於テ中隊附一名負傷)結  
果第ニ次ヨリ二名トナルニシテ然レモ作戦ノ要求上電話機  
ハ電信機一ヲ携行シ情況ニ應ジ之ガ使ヒ別テヲナシタルニ  
實際的ニハ一名ノ電信員ヲ以テ完全ニ資力ニ得ル所ニ  
非ズ増員ノ要アリト認ム

(三) 運輸係経過概要並ニ所見

(1) 経過概要

昭和十七年 自六月八日 至六月十四日

進撃隊員

五十七名

使用車輛

四十二台

西昌市作戦一部車輛輸送銃隊員トシテ

九名進撃隊ニ編入ス

本作戦中、運輸ハ道路其、他困難ナル状況

リシモ極メテ順當ニ戦闘ノ要求ニ即應ビリ

(2) 成果

運輸

人員

八四三八名

兵器彈藥糧食燃料其、他

一五七名

0706

陣地設営道路架橋設営材料 九四配

(ハ) 所見

本作戦ニ於テル各種運輸任務ヲ迅速確實ニ作  
戦ノ要求ニ遺憾ナクノ發揮セリ新興市作戦ハ  
道路架橋新設ニツツ進撃ヲ降雨ノ為メ道路泥  
濘甚シク困難ヲ感セリ其ノ他作戦ニ於ル進撃手道  
路ハ戦車壕及新設補修道路ニシテ燃料消費  
費額一四倍ヲ増加セリ

(ニ) 運輸明細附録

交戦下戰場ニ在リテ困苦致シニ堪ヘ古ルク自動  
車操縦整備ニ勇力奮闘阻泥濘ナル悪路  
征服シ運輸ノ全能力ヲ發揮シ本隊戦ニ貢献  
スル處大ニシテ古ルクニ戦闘ノ目的ヲ達セルモノト認ム

0707

		自六十七 至六十一 作 新 鎮 市 戰										月 日		
		戰 區 分										作 戰 區 分		
使用車輛	員數	任 務	使用車輛	員數	任 務	使用車輛	員數	任 務	使用車輛	員數	任 務	使用車輛	員數	任 務
六	八	右翼隊竜門ヨリ屯昌ニ輸送	六	八	右翼隊竜門ヨリ屯昌ニ輸送	六	八	右翼隊輸送	六	八	右翼隊輸送	六	八	右翼隊輸送
一五	二〇	新鎮市方面道路架橋新設補給	一五	二〇	嘉積ヨリ糧食補給	一五	二〇	屯昌ヨリ糧食及人夫輸送	一五	二〇	竜塘ヨリ支那人夫輸送	一五	二〇	屯昌ヨリ糧食及人夫輸送
三	四	五中隊連擊隊部隊屯昌輸送 (右翼別動隊)	三	四	連擊隊輸送茅場	三	四	連擊隊輸送大同	三	四	連擊隊輸送大同	三	四	連擊隊輸送大同
四	九	右翼隊輸送	四	九	連擊隊輸送大同	四	九	連擊隊輸送大同	四	九	連擊隊輸送大同	四	九	連擊隊輸送大同
二	四	右翼隊ヨリ本隊ト連絡ノタメ竜門ヨリ竜塘ハ	二	四	右翼隊輸送	二	四	右翼隊輸送	二	四	右翼隊輸送	二	四	右翼隊輸送
一	五	作戦準備駐屯地進出	一	五	作戦準備駐屯地進出	一	五	作戦準備駐屯地進出	一	五	作戦準備駐屯地進出	一	五	作戦準備駐屯地進出
四	七	連擊隊南門ニ進出	四	七	連擊隊南門ニ進出	四	七	連擊隊南門ニ進出	四	七	連擊隊南門ニ進出	四	七	連擊隊南門ニ進出

0708

六一九	"	六一八	六一七	自六一五 至六一六	自六一二 至六一三
山沢西昌市 戦		嶺南駐屯部 戦		三次南中 戦	二次嶺南 戦
軒 四	軒 五	軒 二	軒 三	軒 一七	軒 一八
六	七	二	三	四	五
進撃隊六嶺附近 輸送	進撃隊海軍市 輸送	吉安道路補修	進撃隊輸送	糧食輸送(嘉積、屯日)	進撃隊先鋒隊輸送
					進撃隊輸送
					進撃隊本部屯日集結
					嘉積ヨリ連絡
					戦傷者海口分院 輸送
					戦死者屯日 輸送
					一六二高地戦傷者 輸送
					支那人天敵戒兵屯日 輸送

0709

自六一三海狗嶺南嶺 六一三進駐作新												
軌	軌	"	"	"	"	"	"	軌	"	軌	"	軌
四	一	六	五	二	二	五	七	二	五	一六	二	四
五	三	九	七	二	二	七	九	二	五	〇	二	四
進駐隊輸送	司令海狗嶺視察	海狗嶺設営材料輸送	進駐隊輸送(五中)	羊角嶺海狗嶺間電線架設作業	採斫隊輸送	海狗嶺糧食及設営材料輸送	海狗嶺設営入支輸送(屯日ヨリ)	海狗嶺進駐隊先發隊輸送	吉安下士哨設営材料輸送	補給(喜加積ヨリ)	設営隊員輸送	作軌道路補修架橋材料輸送

0710



自六十三 至六十四													
烏坡嶺子 進駐作戦													
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	軒	"	"	軒
二	二	五	一	三	四	一	四	一	六	六	二	四	三
二	四	六	二	"	五	二	五	一	七	七	二	四	五
進撃隊(司令)屯日輸送(天指)	進撃隊屯日輸送	進撃隊黄嶺輸送	嶺子進駐隊彈藥及糧食設営材 料輸送	同 右	進撃隊輸送	烏坡嶺子進駐隊彈藥及糧食設営材 料輸送	進撃隊南嶺輸送	支那人丈大同リ南嶺輸送	支那人丈屯ヨリ南嶺輸送	支那人丈屯ヨリ南嶺輸送	設営隊員及要具屯日輸送	設営隊員及要具輸送	海狗嶺設営材(石)輸送

0711

(三) 工作隊經過概要並所見

(1) 經過概要

月日	作戰区分	任	務
六・七		嘉積發竜塘ニ至ル	(本隊後衛)
"		新市嶺口間暗橋修理ヲナス	
八	第一次	新興市攻畧	(本隊後衛)
"		新興市大昌坡間掃蕩	(三中隊後衛)
一〇		三發橋架橋材料準備	
"		南大橋架橋材料輸送(嘉積ヨリ)	
二	第二次	楓木市攻畧	(本隊後衛)
三		嶺門市攻畧	(同)
三		楓木市發屯昌飯着	(本隊)
五	第三次	嶺門市攻畧	(本隊後衛)

0712

二六		南坤市攻畧 (本隊後衛) (本昌飯着)
二八		南間楓木間三叉路附近討伐 (日) (右)
二九	第四次	西昌市攻畧 (往本隊後衛復本隊)
三〇		烏坡進駐作戰 (本隊後衛)
三一		楓木三叉路間下士哨進駐作戰 (本隊後衛)
三二		嘉積飯着

(四) 所見

今期作戦中ハ銃隊員トシテ終始本隊後衛ノ任務ヲ命ゼラレタルモ常ニ不時ノ事故ヲ考慮シ工作業具ノ携行ヲナシ居タル爲メ新市嶺口間ノ暗橋トラックノ通行ニ依リ破壊サレシモ隊員ニテ短時間ニシテ是ヲ復旧セシメ尔後ノ行動ニ支障ヲ来ス事ナク目的地ニ到達セシメ工作業具ノ任務ヲ發揮シヨリ又本隊ノ行動

ニ際シテハ終始後衛トシテ警戒續行シタルモ隊員一同元  
氣旺盛ニシテ交署ラモ物トモセス連絡傳令警戒ニ一  
致協力シ銃隊員トシテノ任務ヲ遂行シ大イニ戦闘  
意識ヲ涵養セルモノト認ム

(1) 経過概要

今期Y六作戦ハ自六月八日實施セラレ其ノ間進撃部  
隊ニ於テハ戦死一戦傷六マラリア四三其ノ他ハ一患者  
發生ヲ見ルモ全員士氣旺盛ニテ順調ニ経過セリ  
進撃ニ際シテ醫務隊員ヲ別表第一ノ如ク夫々配員  
シ野戰病院ハ第一ノ次大司第ニ次南間第ニ次第  
次屯昌ニ開設傷者ノ治療ニ力全ク期シテ六月十一日  
戦死一石戦傷六石ヲ出シタル他戦傷者ノ發生ナク戦

傷者中重傷者三、輕傷者一、同月十三日陸路海  
南病院海〇分院ニ送院セリ

本期作戦中、進撃部隊ノ受診患者ノ状況ハ別表  
第三ニ知シ尚、今期作戦ニヨリ新ニ進駐セル黄嶺島  
坡、楓木ニハ支々醫務隊員ヲニ名ツツ配置シテリ、別  
表第三ニ

ハ) 所見

今期Y六作戦中、進撃部隊ニ於ケル患者發生状況ハ  
新患五八名(内戦傷七、マラリア四三、其、他八)ニシテマラ  
リア患者其ノ大多数ヲ占ム之マラリア浸注度大ナル敵  
地ニ於ケル作戦ニ際シテハマラリア防遏トシテ「キニーネ」ノ  
内服ニ期待スル處大ナルニモ拘ラズ治療品ニ餘裕ナク進  
撃部隊全員ニクテ服用セシメ得サルニ依ルノミナラス交

0715

熱一下過劇ナル對敵行動ニヨリ身体ノ疲勞甚シキモノ  
アリタル爲ト思惟ス

尚日射病予防ニ軍曹鏡ノ内服ト共ニ多量ノ飲料不  
ラ必要トスルモ奥地作戰ニテ自由ニ飲料水ヲ得ルコト困  
難ニシテ將ニ發シ病セントヒシモノアリタレドモ幸ニシテ本症  
ヲ發セシモノヲ見ズ草木ヲ利用シ鐵砲ヲ覆ヒ直射  
日光ヲ遮ギリタルコトモ相當ノ効果アリタルモノト認ム

別表第一

騎西務隊編制

の進撃隊

部隊名	進官以上	看護兵	看護兵	担員	計
第一中隊		一	一	一	三
第二中隊			一		一

④

會文	陽江	萬寧旅隊	嘉積本部	部隊名	野戰病院	砲隊	本部中隊	第五中隊	第四中隊	第三中隊
"	"			准官以上	計					
		一	一	看護兵	三	一	一	一		
	一		二	看護兵担	六	二		一	一	一
一		一	二	員	七	三	一			一
一	一	一	三	計	一〇	三	一	一	二	一
二	二	三	八		二六	九	一	三	三	三

0717

計	南間分遣隊	毛呂	翰林	大路派遺隊
二				
五	一	一		
七	一		一	一
九		一	一	一
二三	二	二	二	二

備考

(1) 各中隊順位は從一三三四五收容隊ト是ノ本部  
 中隊附ヲ第六砲隊附ヲ第七收容隊ト仮稱ス  
 (2) 野戰病院ハ第一次大同第三次南間、第三第四次ハ  
 毛呂ニ開設ス

別表第二

受診患者ノ状況  
 戦傷患者



三日熱マラリア	傷病名	硫酸規	現員百名に 對スル比較	計	熱帶熱	四日熱	三日熱マラリア	傷病名	新患再發計	六月十一日午後一時四十五分 子南南南西四一軒	受傷月日時	受傷場所	即死重傷 官	元重傷 兵	元重傷 輕傷	計
	硫酸キニ一服用者	錢服用者ト比較	二二八%	一一一			一一一	新患再發計	三二四三	海南島安文縣里佳		下士官	一	一	一	七
	服用人員百名に 對スル比較		六三四%	三二二			三二二		四三							
	硫酸キニ一服用者		八五%	四三												
	人員四七名 患患者數															
	三二八															

(ウ) マラリア患者

(五) 生計隊經過概要並三所見  
 (六) 經過概況

計	楓木	島坡	黃嶺分遣隊	通駐部隊名	准官以上	看護兵	看護兵	担員	計
三	一	一	一				一	二	六

別表第三  
 今期通駐二伴ノ段西務隊配員状況

現員百名ニ 對スル比較	計	熱帶熱	四日熱
五六八%	五		
	四一七		
九二%	三八		

今次作戰ヲ通シ全員(二十三名)士氣旺盛ニテ補給  
ニ任ズルト共ニ銃隊ニ参加進撃ヲセリ

作戦名稱	銃隊 進撃員	残留員	記
第一次新興市作戦	〇	二三	竜門竜橋大同ニ於ケル補給 完了後大同ヲ待機ス
第二次嶺門市	一五	八	屯昌ヲ待機ス
第三次南埔市	一五	八	右
第四次西昌市	一五	八	右
烏坡市進駐	一〇	八	南同ヲ待機ス。高別ニ黃嶺ニ 三名配置シニ名ニ惟思

所見

移動進撃用トシテ携帶口糧ヲ設スルハ特ニ海南島  
部隊ニ於ケル緊急問題ト用心考ス

(終)